

【歌詞】

其の一「今日」※歌のみ

今日のお酒盛りは 御しん様（鹿島神宮）の御法楽
皆いつれ揃い申して拝み申す 何事も悪しきは避け給え神様

其の二「めでた」※歌と踊り

目出度めでたが三つ重なりて 門に七重の注連を張る
これのお家はめでたいお家 つるとかめが舞い遊ぶ
つるは千年 亀は万年 お家繁盛と舞い遊ぶ
親は百まで子は九十九まで、白がのはえるまで

其の三「みろく」※歌と踊り

世の中は萬劫末代 弥勒の船がつづいた
舳艫には伊勢と春日 中には鹿島の御社 ありがたや息栖お森は黄金社壇
打つて輝く後には 清き神等 前には女瓶男瓶
あの御座船 香取は四十余の御社 音に聞くも尊としや 一度は参り申すべく候よ
金三合撒かうよ 金三合は及びござらぬ
米三合撒かうよ 何事も叶え給えや 常陸鹿島の神々様

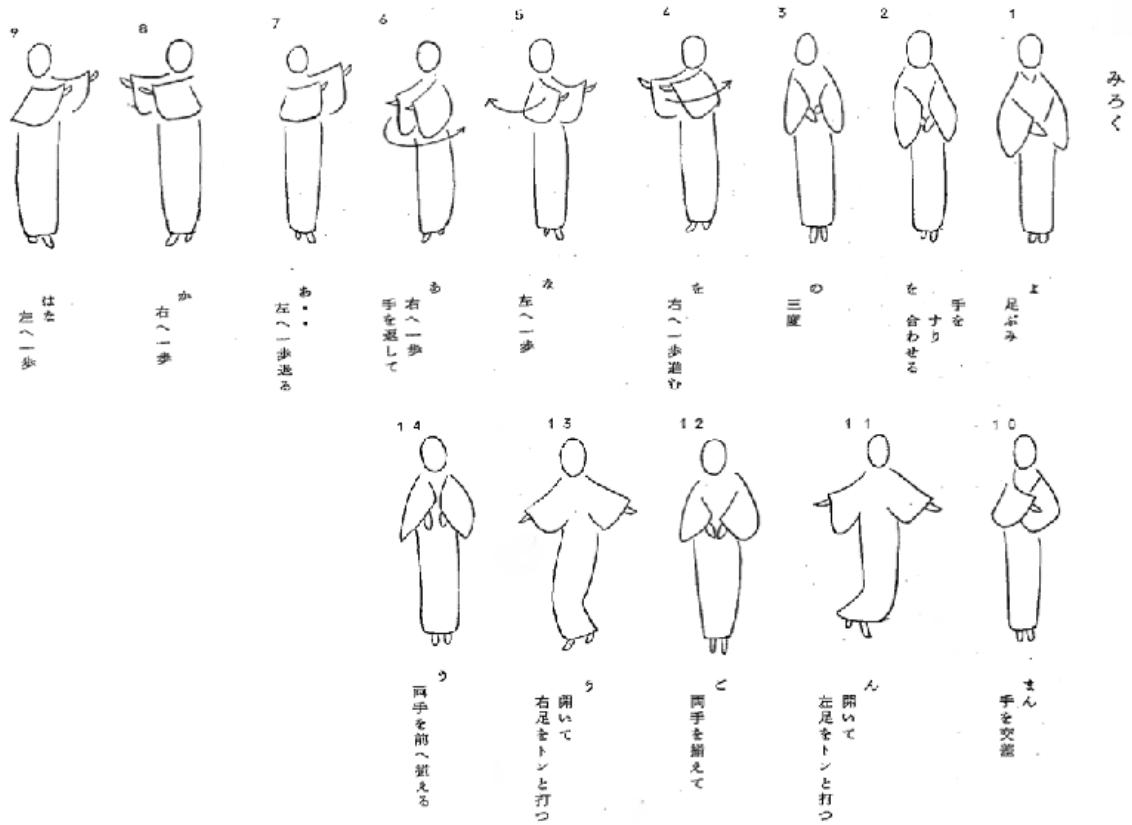
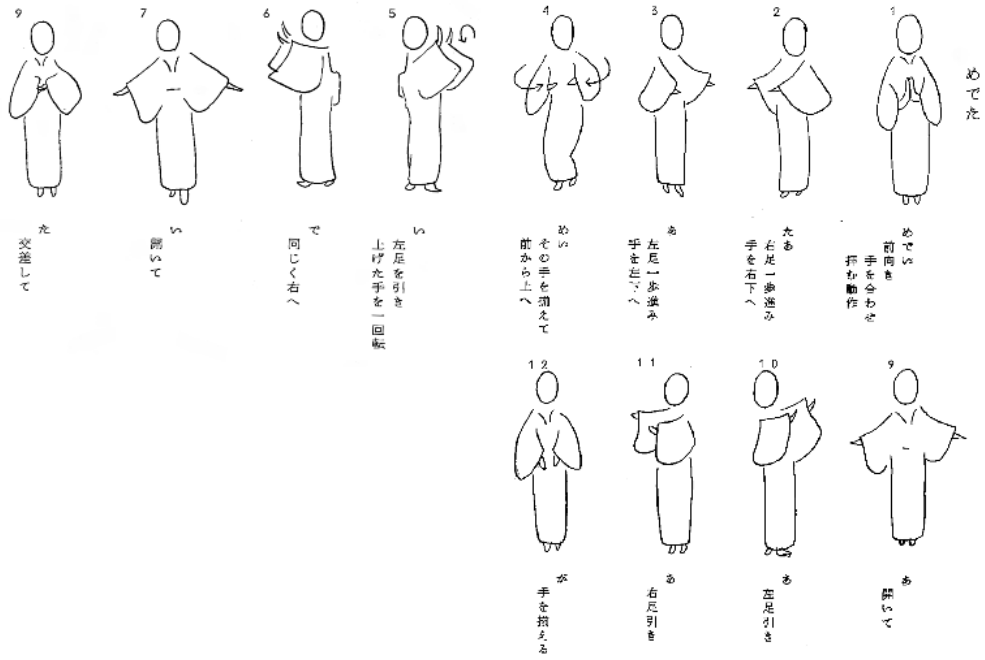
其の四「お茶の礼」※歌と踊り

是様の初の正月 門松門林 その松の一の小枝に 孔雀の鳥が羽をば休めなあ
両羽根に銭を並べて 口には黄金を啜え居るよ
その鳥がまたも来るなら 末代長者で暮らすものよな

其の五※歌のみ

鹿島で美しいのは御しん様（鹿島神宮）のあのはい藤
はい藤が咲きそろって御しん様に輝く 何事も叶え給えや
常陸鹿島の神々様

【振付】



お茶の礼



1
前向き
手をポケット
に入れる

2

3
北
その手を元上へ
左足出し
指で丸をつくり
出したところで
踵返す

4
え
右下へ
右足出し

6
あ
大きく手を動かす

7
ま
手をポケット
に入れる

8
の
両手を膝間
の手を動かす

9



右今



10
あ
お茶から
離れて



11
い
手を合わせ